

管理対象マシンの IP アドレス、ホスト名の変更手順

対象バージョン: SSC 3.x

概要

管理対象マシンの IP アドレスやホスト名を変更する場合、SigmaSystemCenter のコンポーネント (SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerAgent) に影響があります。

管理対象マシンの IP アドレスやホスト名の変更手順について、説明します。

また、BMC、および EM カードの IP アドレスを変更した場合、SigmaSystemCenter のコンポーネント (SystemProvisioning)、Rescue VM に影響があります。

BMC、および EM カードの IP アドレス変更手順も、併せて説明します。

注

管理対象マシンが仮想マシンサーバ (ESX) の場合、以下の FAQ から「仮想マシンサーバ(ESX/ESXi) の IP アドレスの変更手順 (SSC3.0-3.5u1)」、または「仮想マシンサーバ(ESXi) の IP アドレスの変更手順 (SSC3.6～SSC3.x)」を参照して、手順を実施してください。

「構築・運用関連」 – 「Q10 仮想マシンサーバの IP アドレスの変更手順はありますか？」

<https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/faq.html>

また、SigmaSystemCenter と iStorage を連携してご利用、かつ iStorage 装置の IP アドレスを変更した場合、SigmaSystemCenter のコンポーネント (SystemProvisioning) に影響があります。

iStorage 装置の IP アドレス変更手順も、併せて説明します。

各コンポーネントへの影響

SigmaSystemCenter の各コンポーネントについて、以下の設定変更が必要です。

- SystemProvisioning
 - SystemProvisioning のホスト設定で設定した IP アドレス、ホスト名の変更が必要です。
 - NAS 環境を利用している場合、ストレージ装置の exports 設定を変更します。
 - vIO (ブートコンフィグ) 運用を行っている環境で EM カードの IP アドレスを変更した場合、マシンの格納場所に設定されている EM カードの IP アドレス、運用グループに設定されているスクリプトの内容を変更する必要があります。

[仮想] ビューの「VM サーバ追加」から、登録したマシンの設定 (IP アドレス、またはホスト名) を変更する場合、サブシステム編集でホスト名の設定を変更する必要があります。これには、スタンドアロン ESXi、スタンドアロン Hyper-V、KVM の仮想マシンサーバが含まれます。

- OOB 管理を行っている環境で BMC の IP アドレスを変更した場合、マシンに登録している OOB アカウントの IP アドレスを変更する必要があります。
- SystemMonitor 性能監視

SystemMonitor 性能監視で IP アドレスを指定して性能データ取得を実施している場合、SystemMonitor 性能監視上の管理対象マシンの IP アドレスの設定を変更する必要があります。

- SystemProvisioning に登録した管理対象マシンを、SystemMonitor 性能監視に反映している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用している場合)

SystemProvisioning での作業後、構成反映のタイミングで、最新の IP アドレス (管理用 IP アドレス) 情報が SystemMonitor 性能監視側の IP アドレスとして設定されるため、新たな設定は必要ありません。

- SystemMonitor 管理コンソールで、独自に管理対象マシンを登録している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用していない場合)

IP アドレスの変更については、以下の手順で、SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で行ってください。

1. SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
2. ツリーインから IP アドレスを変更するマシンを右クリックし、「マシン設定」画面を表示します。
3. [全般] タブの [IP アドレス] に新しい IP アドレスを設定し、[OK] をクリックします。

IP アドレスの指定がない場合、SystemMonitor 性能監視の性能データの収集は、マシン名の設定を利用して対象マシンにアクセスするため、対象マシンのホスト名の変更を行っている場合は、SystemMonitor 性能監視上のマシン名の設定の変更が必要です。

(実際は、マシン名の指定から DNS などの名前解決により変換された IP アドレスで、アクセスが行われます。)

- SystemProvisioning に登録した管理対象マシンを、SystemMonitor 性能監視に反映している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用している場合)

SystemProvisioning での作業後の構成反映のタイミングで、最新のホスト名の情報が SystemMonitor 性能監視側のマシン名として設定されるため、新たな設定は必要ありません。

※ただし、マシン名の変更については、SSC3.2 以前の場合は、SystemProvisioning 側のホスト名の変更に対応していないため、IP アドレスが設定されるようにしてください。

SSC3.2 以前では、SystemProvisioning 側でホスト名の変更が行われると、SystemMonitor 性能監視には変更後の名前で別マシンとして新規に登録されますので注意してください。

- SystemMonitor 管理コンソールで、独自に管理対象マシンを管理している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用していない場合)

マシン名の変更については、以下の手順で、SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で行ってください。

1. SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
2. ツリーインからマシン名を変更するマシンを右クリックし、「マシン設定」画面を表示します。
3. [全般] タブの [マシン名] に新しいマシン名を設定し、[OK] をクリックします。

なお、IP アドレスの指定がない場合でも、性能データ収集ではマシン名が使用されるため、上述のようにマシン名の設定の変更のみで対処することができますが、下記のように IP アドレスを指定して追加する方法もあります。

- SystemProvisioning に登録した管理対象マシンを、SystemMonitor 性能監視に反映している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用している場合)

SystemProvisioning の [ホスト設定] の [ネットワーク] タブで、IP アドレス (管理用 IP アドレス) 情報を指定します。

SystemProvisioning での作業後、構成反映のタイミングで、IP アドレス (管理用 IP アドレス) 情報が SystemMonitor 性能監視側の IP アドレスとして設定されるため、SystemMonitor 性能監視で新たな設定は必要ありません。

- SystemMonitor 管理コンソールで、独自に管理対象マシンを登録している場合 (SystemProvisioning の構成反映機能を利用していない場合)

IP アドレスの設定については、以下の手順で、SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で行ってください。

1. SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
2. ツリーインから IP アドレスを設定するマシンを右クリックし、「マシン設定」画面を表示します。
3. [全般] タブの [IP アドレス] に IP アドレスを設定し、[OK] をクリックします。

注

SystemProvisioning の構成反映については、「SystemMonitor 性能監視ユーザーズガイド」の「2.6. SystemProvisioning の接続設定」を参照してください。

- ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManager に登録されている管理対象マシンの IP アドレスを、変更する必要があります。

1. ESMPRO/ServerManager を起動します。
2. 管理対象マシンの [設定] タブ – [サーバ設定] – [接続設定] で、「接続設定」画面を表示します。
3. [編集] をクリックし、「編集」画面を表示します。
4. OS の IP アドレスを変更する場合は、[OS IP アドレス] に新しい OS の IP アドレスを設定し、[適用] をクリックします。
5. マネージメントコントローラの IP アドレスを変更する場合は、[IP アドレス 1] に新しいマネージメントコントローラの IP アドレスを設定し、[適用] をクリックします。
6. EM カードの IP アドレスを変更する場合は、LAN1 接続設定の [固定 IP アドレス] に新しい EM カードの IP アドレスを設定し、[適用] をクリックします。
7. 接続チェックを開始します。

ホスト名の変更については、上記 IP アドレス変更手順の「IP アドレス」を「ホスト名」に読み替えて実施してください。

注

ESMPRO/ServerManager では、自動発見時に取得したホスト名を元に管理対象サーバを登録しているため、ESMPRO/ServerAgent がインストールされているサーバのホスト名を変更した場合、実際のホスト名と ESMPRO/ServerManager に登録されているホスト名が異なることがあります。

必要に応じて、ESMPRO/ServerManager に登録されているホスト名を変更してください。

リモートウェイクアップ設定 (SNMP 管理のみを行っている管理対象マシンに対して、電源オンを行う場合に必要な設定) を行っている管理対象マシンのネットワークアドレスが変更となる場合、IP ブロードキャストアドレスを変更します。

- a. ESMPRO/ServerManager を起動します。
- b. 管理対象マシンの [サーバ設定] – [リモートウェイクアップ設定] で、「リモートウェイクアップ設定」画面を表示します。
- c. [編集] をクリックし、「編集」画面を表示します。
- d. IP ブロードキャストアドレスを変更し、[適用] をクリックします。

受信アラートフィルタ、送信アラートフィルタの設定を行っている場合は、[Windows GUI] にて、以下の設定を行ってください。

注

SigmaSystemCenter 3.4 以降 (ESMPRO/ServerManager Ver.6 以降) の場合は、以下のアラートフィルタの設定は不要です。

オペレーションウィンドウの受信アラートフィルタ、送信アラートフィルタ(マネージャ間通信機能使用時に有効)でIPアドレスによるフィルタリングを設定している場合は、設定を変更します。

1. オペレーションウィンドウを起動します。
 2. [ツール] – [アラートフィルタの設定] – [受信アラートフィルタの設定]、または [送信アラートフィルタの設定] から、フィルタの設定画面を表示します。
 3. フィルタの条件にIPアドレスを使用している場合は、変更後のIPアドレスに変更します。
- ESMPRO/ServerAgentService (Windows版)、または ESMPRO/ServerAgent (Windows版)高信頼性通報に管理対象マシンのIPアドレス/ホスト名を指定している場合、設定画面を開いて再設定してください。
SNMPトラップの下記設定で、管理対象マシンのIPアドレス/ホスト名を設定している場合、変更されたIPアドレスで再度設定を行ってください。
 - SNMP Trap送信先に、管理対象マシンのIPアドレスを指定している場合
 - SNMPサービスのセキュリティ設定にて、「これらのホストからSNMPパケットを受け付ける」に管理対象マシンのIPアドレスを指定している場合

管理対象マシンのIPアドレス、ホスト名の変更手順

管理対象マシンのIPアドレス、ホスト名の変更手順を記載します。

1. [SigmaSystemCenter Webコンソールでの操作]
管理対象マシンのメンテナンスモードをオンにします。
2. [管理対象マシン上での操作]
管理対象マシンにログインし、[コントロールパネル]から管理対象マシンのIPアドレス/ホスト名を変更してください。
 - IPアドレス
[コントロールパネル] – [ネットワークと共有センター]から、対象NICのIPアドレスを変更してください。
 - ホスト名
[コントロールパネル] – [システム]から、コンピュータ名を変更してください。
3. [SigmaSystemCenter Webコンソールでの操作]
管理対象マシンのホスト設定の[ネットワーク]タブに登録されているIPアドレスと、[全般]タブに登録されているホスト名を、変更後のIPアドレス、ホスト名に合わせて変更してください。
4. [SystemMonitor 性能監視の管理コンソールでの操作]

「各コンポーネントへの影響」に従い、必要な場合は、SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから、手動で監視対象マシンの IP アドレス / ホスト名の変更を行ってください。

5. [ESMPRO/ServerManager での操作]

「各コンポーネントへの影響」に従い、ESMPRO/ServerManager から、手動で管理対象マシンの IP アドレスの変更を行ってください。

6. [ESMPRO/ServerAgentService (Windows 版)、または ESMPRO/ServerAgent (Windows 版) での操作]

高信頼性通報に管理対象マシンの IP アドレス / ホスト名を指定している場合は、「各コンポーネントへの影響」に従い、ESMPRO/ServerAgentService、または ESMPRO/ServerAgent から、手動で管理対象マシンの IP アドレス / ホスト名の変更を行ってください。

7. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]

NAS 環境 (NetApp ストレージ装置を SigmaSystemCenter の管理対象としている) をご利用の場合、ストレージ装置の exports 設定を変更し、SigmaSystemCenter Web コンソールからストレージ収集を行ってください。

8. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]

SigmaSystemCenter Web コンソールで、管理対象マシンのメンテナンスマードをオフにしてください。

BMC の IP アドレス変更手順

管理対象マシンの BMC IP アドレスの変更手順を記載します。

この手順は、SigmaSystemCenter で OOB 管理を行っている場合に実施してください。

1. [管理対象マシン上、または EM カード上での操作]

BMC の IP アドレスを変更してください。

2. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]

管理対象マシンのマシンプロパティ設定の [アカウント情報] タブに登録されている OOB アカウントの接続先を、変更後の IP アドレスに変更してください。

3. [Rescue VM での操作]

管理対象が仮想マシンサーバで Rescue VM に登録されている場合は、`etc/rescue_vm/config.json` を更新して、rescue-vm サービスを再起動してください。

EM カードの IP アドレス変更手順

EM カードの IP アドレスの変更手順を記載します。

この手順は、SigmaSystemCenter で vIO (ブートコンフィグ) 運用を行っている場合に実施してください。

1. [EM カード上での操作]

EM カードの IP アドレスを変更してください。

2. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]

管理対象マシンのマシンプロパティ設定の [全般] タブで、格納場所に登録されている EM カードの IP アドレスを、変更後の IP アドレスに変更してください。

3. [SigmaSystemCenter 管理サーバでの操作]

以下のスクリプトで、MANAGER_ADDR の値が [0.0.0.0] ではない場合、EM カードの IP アドレスが指定されていますので、変更後の IP アドレスに変更してください。MANAGER_ADDR の値が [0.0.0.0] の場合は、変更する必要はありません。

注

SigmaSystemCenter 3.2 より以前のバージョンでブートコンフィグ運用環境を構築されている場合、スクリプトに EM カードの IP アドレスが記載されていることがあります。

[対象スクリプト]

- ApplyBootConfig.bat (ブートコンフィグ適用スクリプト)
- ReleaseBootConfig.bat (ブートコンフィグ解除スクリプト)
- CheckApplyingState.bat (ブートコンフィグ適用状況チェックスクリプト)

iStorage 装置の IP アドレス変更手順

iStorage 装置の IP アドレスの変更手順を記載します。

この手順は、SigmaSystemCenter で iStorage と連携を行っている、かつ iStorage IO 流用制御、または SNMP Trap によるストレージデバイス監視を行っている場合に実施してください。

• SigmaSystemCenter 3.5 の場合

1. [iStorage 装置上での操作]

iStorage 装置の IP アドレスを変更してください。

2. [管理サーバ上での操作]

「SigmaSystemCenter 3.5 リファレンスガイド 概要編」の「6.2.3 iStorage 制御のため に必要な事前の設定について」の「• SigmaSystemCenter の設定」の「-ディスク アレイ登録」を参照して、レジストリの設定を行ってください。

3. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]

[管理] ビューから [サブシステム] を選択し、「製品名 : iStorage」にチェックを入れ、[収集] を実行してください。

- SigmaSystemCenter 3.5 update1 以降の場合
 1. [iStorage 装置上での操作]
iStorage 装置の IP アドレスを変更してください。
 2. [SigmaSystemCenter Web コンソールでの操作]
[管理] ビューから [サブシステム] を選択し、「製品名 : iStorage」にチェックを入れ、[収集] を実行してください。